

～ユニセフ学校募金～ カンボジア指定募金に ご協力ありがとうございます！

カンボジアの子どもの現状

カンボジアでは、経済発展が進む一方で、富める人やそうでない人の差や、都市部と農村部の格差が深刻になって、いまだに多くの子どもたちが教育や医療などの基本的な社会サービスを受けることができない状況にあります。最も所得の低い3割の家庭（主に農村地域）に、過半数のカンボジアの子どもたちが属しています。



©G. Pirozzi/UNICEF/2015

これら経済的に困窮した家庭の子どもたちは、学校に行かずに家族のために働くことも多く、社会的に弱い立場のために搾取や暴力の対象になりやすい状況です。障がいに対する社会的な理解が不足していたり、障がいのある人たちへの支援制度が十分に整っていなかったりするため、障がいのある子どもたちも、教育や医療などの基本的な社会サービスを受けにくい社会的に弱い立場にあります。

ユニセフの取り組み

ユニセフは、地方政府やコミュニン（複数の村の集合体）の評議会と連携し、支援を必要とする子どもの多いカンボジア北東部を中心とした6州を対象に、6歳未満の子どもへの支援に注力しています。就学前教育の充実や貧困家庭の子どもたちへの支援を通して、地域の復興、生活の改善へつなげていくことを目指しています。カンボジアでは、2008年の基本法の制定以来、地方分権化が推し進められ、地方政府の担う役割が大きくなっています。地方政府やコミュニンがより良い社会サービスをより多くの子どもに提供できるように、ユニセフは地方政府やコミュニンの能力強化に取り組んでいます。また保護者やコミュニンを対象として、新生児の出生登録の促進や、就学前教育などの社会サービスの利用促進に力を注いでいます。

みなさんのご支援で

2011年度から2016年度にかけて、1,633人のコミュニン評議会メンバー全員に能力強化トレーニングを提供し、教育や医療などの社会サービスの実施ができるように支援をしました。11,215人（内、56,926人の女兒）の3-5歳児がユニセフが支援するプレスクールで幼児教育を受けました。特に経済的に困窮した家庭にいる子どもの把握も進み、7,909人の子どもが就学前教育や水・衛生に関する社会サービスを受けることができました。

カンボジアの子どもへの支援は引き続き必要とされており、これからもユニセフはカンボジアの子どもたちへの支援を行っていきます。

支援の現場から

“将来は看護師になりたい”、サムナムくん

学校に行くのをやめる。そして、大きなケガ。

カンボジアのバタナン州に住むサムナムくんは、6歳の時に小学校に通い始めました。サムナムくんの家庭は裕福ではなく、お父さんとお母さんは農場での仕事を見つけては引っ越しました。引っ越しのたびにサムナムくんは学校を転向し、通い続けるのが難しくなったサムナムくんは、学校に行かなくなってしまいました。

9歳になったときに、サムナムくんは高い建物から落ちて、脊椎をケガしてしまいました。病院で治療を受けたものの、サムナムくんは歩いてもすぐに転んでしまい、以前のように歩くのが難しくなってしまいました。



地域で困っている家庭を助ける

カンボジアには、いくつかの村が集まったコミュニティという集まりがあります。ユニセフからの支援を受けて、コミュニティ評議会は地域の女性や子どもへ、より良い教育や医療などを提供するように活動しています。

コミュニティ評議会は、村の中でどの家庭に障がいを持っている人や子どもがいるか、親がいない家庭があるか、どの家庭が出生届を出していないか、トイレが設置されているか、などを地図にしています。この地図を元にコミュニティ評議会が、どの家庭を支援していくかを決めます。

地域の支えで、また学校へ

サムナムくんの家族も、コミュニティ評議会によって支援が必要だと判断されました。コミュニティ評議会は、サムナムくんの家族に食料を年2回提供しました。サムナムくんがまた学校に通えるように教科書、制服、自転車も提供しました。それに加えてサムナムくんは、コミュニティによって無料でケガの治療を受け続けることができるようになりました。こうした支援のおかげで、サムナムくんは、また学校に通うようになったのです。



サムナムくんのお父さんとお母さんは、「コミュニティは息子のような障がいを持った子どもにも、安心できる場所になりました。みんなが息子を気にかけてくれて、息子への差別を感じたこともありません」と、とても喜んでいます。

サムナムくんは、「大きくなったら、看護師になりたい。看護師になって、他のひとが元気に暮らせるように助けたい」という目標を持って、学校に通っています。

みなさまのご支援に心よりお礼申し上げます。
引き続き、あたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

公益財団法人 日本ユニセフ協会 学校事業部

TEL:03-5789-2014 FAX:03-5789-2034

Email:se-jcu@unicef.or.jp

「子どもと先生の広場」:<http://www.unicef.or.jp/kodomo/>